

資本収益力日本株ファンド (3ヵ月決算型)

追加型投信/国内/株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上 げます。

当ファンドは、わが国の株式に投資を行い、 信託財産の中・長期的な成長を目指して運用 を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い 申し上げます。

作成対象期間 2021年9月28日~2022年2月10日

第24期	決算日:2021年12月27日
第25期	償還日:2022年 2 月10日

償還日	償還価額	10,171.22円	
(2022年2月10日)	純資産総額	1百万円	
第24期~	騰落率	△8.8%	
第25期	分配金合計	250円	

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 0120-104-694

(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)

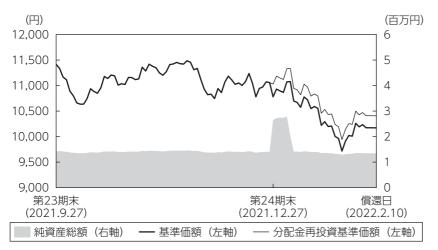
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメント One 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 http://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第24期首: 11,415円 償還日:10,171.22円 (既払分配金250円) 騰落率: △8.8%

(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■基準価額の主な変動要因

資本収益力日本株マザーファンド受益証券への投資を通じて国内株式に投資し、収益獲得を目指しました。保有銘柄群のパフォーマンスが参考指数を下回ったほか、株式市場も下落したため、基準価額は下落しました。個別銘柄では、オリックス、オリエンタルランド、パーソルホールディングスなどがプラス寄与した一方、パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、 Zホールディングス、 ヤマトホールディングスなどがマイナスに影響しました。

設定来、資本収益力日本株マザーファンド受益証券への投資を通じて国内株式に投資し、収益獲得を目指しました。保有銘柄群のパフォーマンスは参考指数を下回りましたが、株式市場が上昇したため、基準価額は上昇しました。個別銘柄では、東京エレクトロン、キーエンス、信越化学工業などがプラス寄与した一方、三井不動産、リゾートトラスト、SOMPOホールディングスなどがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

	第24期~	~第25期	
項目	(2021年9月28日 ~2022年2月10日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	64円	0.592%	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
			期中の平均基準価額は10,745円です。
(投信会社)	(31)	(0.290)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(31)	(0.290)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 □座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.045	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.045)	
合計	69	0.638	

⁽注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

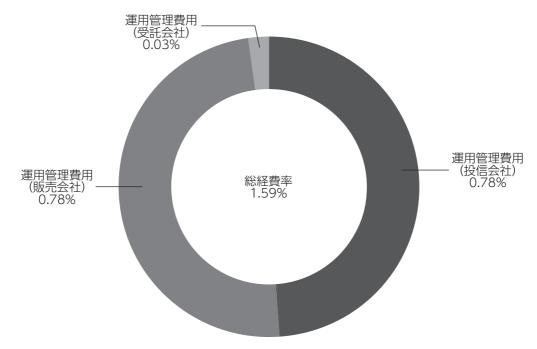
⁽注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

⁽注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.59%です。



- (注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移

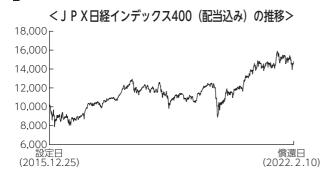


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年3月27日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年3月27日 期首	2018年3月26日 決算日	2019年3月26日 決算日	2020年3月26日 決算日	2021年3月26日 決算日	2022年2月10日 償還日
基準価額(分配落)	(円)	10,063	10,701	9,474	7,899	11,228	(償還価額) 10,171.22
期間分配金合計(税引前)	(円)	_	750	500	0	250	750
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	_	13.4	△7.4	△16.6	45.3	△3.1
参考指数の騰落率	(%)	_	10.8	△0.5	△10.7	46.4	0.8
純資産総額	(百万円)	1	1	1	0.963324	1	1

⁽注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は J P X 日経インデックス400 (配当込み) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

設定来の投資環境



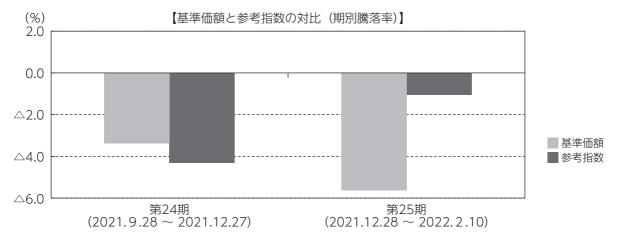
設定来の国内株式市場は、JPX日経インデックス400(配当込み)でみると、48.0%上昇しました。趨勢として、世界的な景気・企業業績の改善、拡大が続いたこと、日銀の超金融緩和政策が継続したこと、がプラスに働きました。2020年1-3月期に新型コロナの感染拡大が世界的に広がり、株式市場が大幅下落する難局もありましたが、世界的な超金融緩和と財政拡張の政策対応が奏効し、株高基調が維持されました。

■設定来のポートフォリオについて

- ●当ファンド 設定来、資本収益力日本株マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。
- ●資本収益力日本株マザーファンド 設定来、自己資本利益率(ROE)の「水準(高さ)」と、その「持続力」や「改善見込み」を重視しつつ、「割安度」を加味して銘柄選択を実施しました。また、独自ビジネスモデルや競争優位性を保持し、業績拡大や資本政策によるROEの維持、改善が期待できる銘柄の発掘に努めました。

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行いました。

■分配原資の内訳(1万口当たり)

	第24期	
項目	2021年9月28日 ~2021年12月27日	
当期分配金 (税引前)	250円	
対基準価額比率	2.27%	
当期の収益	27円	
当期の収益以外	222円	
翌期繰越分配対象額	2,028円	

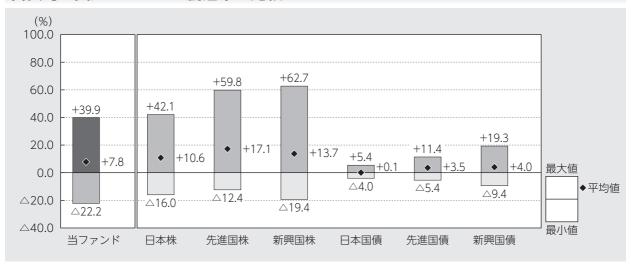
- (注1)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金(税引前)」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金(税引前)」 の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの 収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入して います。
- (注3)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、 今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/国内/株式						
信託期間	2015年12月25日から2022年2月10日までです。						
運用方針	わが国の株式に投資	資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。					
資本収益力日本株 ファンド 主要投資対象 (3ヵ月決算型) 主要投資対象		資本収益力日本株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。					
	資本収益力日本株マザーファンド						
運用方法	投資指標のうち、企業の自己資本に対する収益力を表す「ROE(自己資本利益率)」 を重視した銘柄選択を行います。 株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。						
分配方針	第2期以降、原則として、3、6、9、12月の各26日(休業日の場合は翌営業日)の決算日に前営業日の基準価額に応じた収益分配を行うことを目指します。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準や配当等収益の水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。						

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年2月~2022年1月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

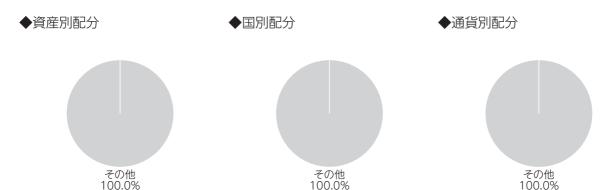
(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ 当ファンドの組入資産の内容(2022年2月10日現在)

当ファンドに組入れておりました親投資信託受益証券は作成期中に全て解約いたしました。



- (注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。
- (注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	第24期末	償還時	
坝 台	2021年12月27日	2022年2月10日	
純資産総額	2,656,893円	1,345,777円	
受益権総□数	2,464,846	1,323,122	
1万口当たり基準(償還)価額	10,779円	10,171.22円	

⁽注) 第24期~償還時における追加設定元本額は1,274,363円、同解約元本額は1,195,206円です。

■ 組入ファンドの概要 ※償還時における組入ファンドはありません。

[資本収益力日本株マザーファンド] (計算期間 2020年9月29日~2021年9月27日)

◆基準価額の推移

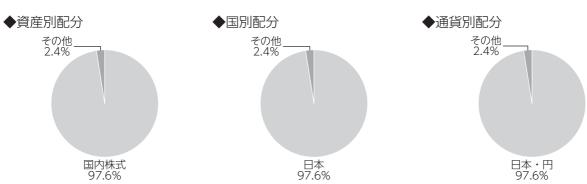


◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
東京エレクトロン	日本・円	2.1%
リクルートホールディングス	日本・円	2.1
トヨタ自動車	日本・円	2.0
ウエストホールディングス	日本・円	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.0
キーエンス	日本・円	1.9
信越化学工業	日本・円	1.9
ルネサスエレクトロニクス	日本・円	1.8
テルモ	日本・円	1.8
第一三共	日本・円	1.7
組入銘柄数	63銘柄	

◆1万□当たりの費用明細

項目	当期			
	金額	比率		
(a) 売買委託手数料	28円	0.196%		
(株式)	(28)	(0.196)		
合計	28	0.196		
期中の平均基準価額は14,377円です。				



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算円現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

● J P X 日経インデックス400 (配当込み)

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所(以下、総称して「JPXグループ」という。)並びに株式会社日本経済新聞社(以下、「日経」という。)によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有します。本商品は、委託会社の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び本商品の取引に関して、一切の責任を負いません。「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- ●「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- ●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した 投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指 数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ●「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。